

国道11号バイパス振動環境検討委員会

第1回委員会 議事概要

1. 日 時 平成26年9月18日(木) 13:00~16:00

2. 場 所 交流プラザ 2F 及び 精密部品工場視察

3. 出席者

〔委員長〕

日野 順市 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

〔委員〕

鍋島 康之 明石工業高等専門学校 都市システム工学科 教授

星 鐵太郎 豊橋技術科学大学 名誉教授

山中 稔 香川大学 工学部 安全システム建設工学科 准教授

〔その他〕

精密部品製作企業

香川河川国道事務所

自治体

4. 議事内容

- (1) 検討会規約の承認、委員長選出
- (2) 事業概要・既往調査等について
- (3) 今後の検討内容と予定
- (4) 意見交換

5. 審議結果

- ・委員会の設立・委員会規約について承認され、委員長が選出された。
- ・委員会での意見を踏まえ追加調査の内容及び方法について、次回委員会に諮る。

6. 主な意見

■振動に影響する要素及びその調査について

- 振動が伝わる工場の基礎厚さや形状などに関する調査、既存のボーリング調査の内容が十分か、について事務局での検討が必要。
- 周波数に対する低減、地盤振動特性についても調査を行う必要がある。

■通常・精密作業時の調査方法（加振調査の方法）について

- 道路予定地側に設置されている仕上げを行う機械についても調査が必要。
- 製品精度に関しては、水平方向（作業者から見て前後方向）の振動も重要。
- 振動の早さ（周波数）を考慮した測定も必要。
- 振動では、衝撃的（パルスの）な振動と、定常的な振動のどちらが影響しているかが明確にならないと振動限界値の確定は困難。

■対策工を検討する上での留意点について

- 本委員会では、発振、受振など振動対策の検討に必要な事項に係る整理が必要。

以上

今後の検討内容と予定

第1回委員会 (H26.9.18)

- 委員会規約の承認
- 精密部品工場の概要説明
- 振動対策工の例
- 意見交換
- 国道11号バイパスの概要説明
- 既往調査結果の報告
- 工場視察



- 追加調査内容及び調査方法の確認
 - ・発振(道路), 受振(機械)側の振動
 - ・振動に影響する要素



追加調査の実施



- 調査結果の確認
- 対策工の検討
- 解析・シミュレーション等の実施